

学校法人箕面学園幼稚園型認定こども園箕面学園附属幼稚園

令和 7 年度自己評価結果公表シート

1.本園の教育目標・重点

『健やかな体、豊かな心を持つ子ども』	
・ 幼児理解に努め、幼稚園生活を通じて知・徳・体・聖・美のバランスのとれた心身の発達を促す。	
・ 安全・安心な環境のもと、体験活動の充実に努め、子どもの生きる力の基礎を培う。	
・ 子ども達を真ん中に、家庭・地域・小学校等との連携に努め、豊かな育ちと学びをつなぐ。	

2.本年度、重点的に取り組む目標・計画

感染症対策・自然災害対策を重点に、安全・安心な園運営に努めた。不安に対応するため積極的に園の様子を発信すると共に保護者への丁寧な説明にも努めた。また不易流行を見極めた教育内容の見直しと共に、幼稚園内外に開かれた幼稚園を目指した。
--

3.評価項目の達成及び取組状況

評 価 項 目	取 組 状 況
在園児について全教職員がその情報を共有して保育を行う。	週 2 回の職員会議において、子どもの様子、状況、保護者の願いを伝え合い、課題を整理し、全教職員が情報共有・行動連携ができるよう努めた。
教育の質の向上のために、研修へ積極的に参加する。	日常の職員会議等を活用した園内研修のみならず、園外研修は対面研修だけでなくオンラインの研修も積極的に活用した。 また、参加した研修会の内容・成果を、レポートにまとめ教職員間で共有を図った。また、職員会議で週案の交流を含めた見直しも積極的に実施し、実践的指導力向上にも努めた。
認定こども園化及び無償化の対応と円滑な園運営の両立を図る。	教育委員会と綿密に連携をとり、適宜、保護者・教職員に示し、その理解を得ながら、円滑に対応できた。教職員の研修の成果と意見を反映し、幼稚園教育要領の目指す教育観に沿った指導内容・方法の見直し・実践に努めた。 保護者連携と教職員の働き方改革に資するため、保育システムを活用しデジタル化を推進した。

ホームページや園だより、メールなどを通じて、園の情報発信に努める。	毎週のお知らせ、2週に1回のクラスだより、毎月の園だより等で情報提供に努めている。園長メールは毎日発信し、園・子どもの様子を伝えている。 またホームページで、行事や日々の子どもの様子を公開、保護者ブログ等で、その生き生きした姿を伝えることができた。未就園児対象の園庭開放（かるがもで一）はこれまで電話受付のみだったが、Googleformを活用し、園への連絡の選択肢を広げた。
地域との交流を図り、地域に密着した幼稚園を目指す。	隣接する箕面学園福祉保育専門学校及び箕面学園高等学校との連携が拡大・深化しつつある。 その他、箕面市・箕面市教育委員会・警察・消防等関係機関と連携した園活動・各種行事も増加した。

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

園運営・活動も、保護者・後援会のご理解・ご協力を得て行事を行っている。箕面学園福祉保育専門学校と連携して幼稚園行事を行うだけでなく、子どもの姿を通じた反省会を通じて内実が深まっている。特別支援教育や子ども理解をはじめ取り組むべき課題について、全教職員が積極的に研修に参加し、共通理解を深め、実践し始めている。 今後も感染対策の徹底を図り安全・安心の園運営に努める。
--

5.今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育システムを含めたICTの活用と、さまざまな感染症や異常気象対策	子ども・保護者・教職員の命・健康・安心・安全を優先し、園運営、教育活動の見直しを図る。その上で適宜、適切に、園の考えや活動内容の情報発信にも努める。 保育システムなどICTの活用をさらに推進する。
今にふさわしい人材確保と育成及び定着そして教育内容の創造	研修の活用と処遇改善を並行して、実践的指導力の向上と定着を図る。
園に対する保護者の満足度の向上とニーズを把握する。	私学の独自性を十分に発揮しつつ、様々な機会において保護者・地域と十分なコミュニケーションと情報発信に努める。

6.財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。
